

◆地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究(研究期間:平成27年4月1日—平成28年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、「2.地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題)

No.	No.	代表者名	所属機関	継続 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	火山1	大場 武	東海大学理学部	継続	企画部	火山ガス観測による箱根山等の熱水系構造解明と群発地震発生予測	報告書
2	火山2	伴 雅雄	山形大学理学部	新規	企画部	蔵王山、五色岳活動期のマグマ進化過程解明に関する研究	報告書
3	火山3	和田 恵治	北海道教育大学旭川校	継続	企画部	十勝岳と雌阿寒岳における噴火推移の高分解能な解析とマグマ供給系	報告書
4	海溝型1	知北 和久	北海道大学大学院理学研究院	新規	企画部	沿岸潟湖の発達史から見た北海道太平洋岸における巨大津波履歴の再検討	報告書
5	海溝型2	渡邊 剛	北海道大学大学院理学研究院	新規	企画部	サンゴからなる津波石の骨格調査に基づく南西諸島周辺の津波履歴の解明	報告書
6	内陸1	志藤 あずさ	京都大学大学院理学研究科	新規	企画部	短波長不均質構造推定による地震動即時予測高度化へ向けた試験的研究	報告書
7	史料1	蝦名 裕一	東北大学災害科学国際研究所	新規	企画部	岩手県沿岸で発生した地震・津波に関連する歴史情報の収集	報告書
8	史料2	林 晋	京都大学大学院文学研究科	新規	企画部	古地震のウェブを目指して	報告書
9	先行1	織原 義明	東京学芸大学教育学部	継続	企画部	公的研究機関以外が所有する計測データを用いた地下水の地震先行現象調査	報告書
10	先行2	上田 誠也	東京大学地震研究所	継続	企画部	臨界現象の物理を背景としたナチュラルタイム概念による地震活動度解析	報告書